

## 芸術文化学部・高岡短期大学部

I	芸術文化学部・高岡短期大学部の研究目的と特徴……	10-2
II	分析項目毎の水準と判断 ……………	10-5
	分析項目 I 研究活動の状況 ……………	10-5
	分析項目 II 研究成果の状況 ……………	10-18
III	質の向上度の判断……………	10-19

## I 芸術文化学部及び高岡短期大学部の研究目的と特徴

### 1 芸術文化学部・高岡短期大学部の概要

(旧)高岡短期大学は、昭和58年に開学し、昭和61年4月に第1期生を受け入れた。平成17年10月には、富山県内の3国立大学((旧)高岡短期大学、(旧)富山大学、(旧)富山医科薬科大学)の再編・統合により、(旧)高岡短期大学は新しい富山大学の高岡短期大学部に再編された。一方、この再編・統合を機に、(旧)高岡短期大学と(旧)富山大学教育学部との多分野にわたる人的資源を最大限に活かし、従来の美術系学部とは一線を画した学部として1学部1学科5コース制の芸術文化学部が新設され、平成18年4月に第1期生を受け入れた。

以上の経緯から、中期目標期間における業務実績は、平成16年4月から平成17年9月までは(旧)高岡短期大学、平成17年10月以降は新しい富山大学の芸術文化学部及び高岡短期大学部のものである。

### 2 基本方針

(旧)高岡短期大学は、資料1-1に示す基本方針を掲げていた。この基本方針は、富山大学の芸術文化学部及び高岡短期大学部にも引き継がれ、両学部とも、教育と地域社会への貢献を重視した研究と実務的・学際的研究を特色としている。

#### 資料1-1 (旧)高岡短期大学の基本方針

高岡短期大学は、開学当初から、多様な分野の研究者に加え民間企業等からの専門知識を有する実務経験者、工芸作家を登用している。このような教員構成を活用し、地域社会に広く貢献する研究・制作を推進する。

教員の研究・制作の質向上については、教育や地域社会への貢献度を含めて評価するシステムの整備に努める。

(出典：高岡短期大学中期目標)

富山大学は、資料1-2に示す基本理念を掲げ、この基本理念に基づき芸術文化学部及び高岡短期大学部が存在している。

#### 資料1-2 富山大学の基本理念

地域と世界に向かって開かれた大学として、生命科学、自然科学と人文社会科学を総合した特色ある国際水準の教育及び研究を行い、高い使命感と創造力のある人材を育成し、地域と国際社会に貢献するとともに、科学、芸術文化と人間社会の調和的発展に寄与する。

(出典：富山大学中期目標前文)

芸術文化学部の教員は、こうした基本方針・基本理念に沿って、高岡短期大学部の教員を併任し、教育研究を行っている。

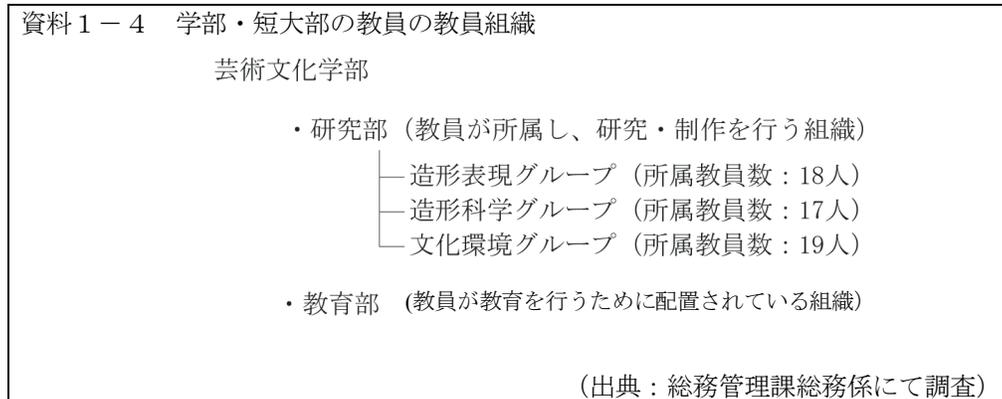
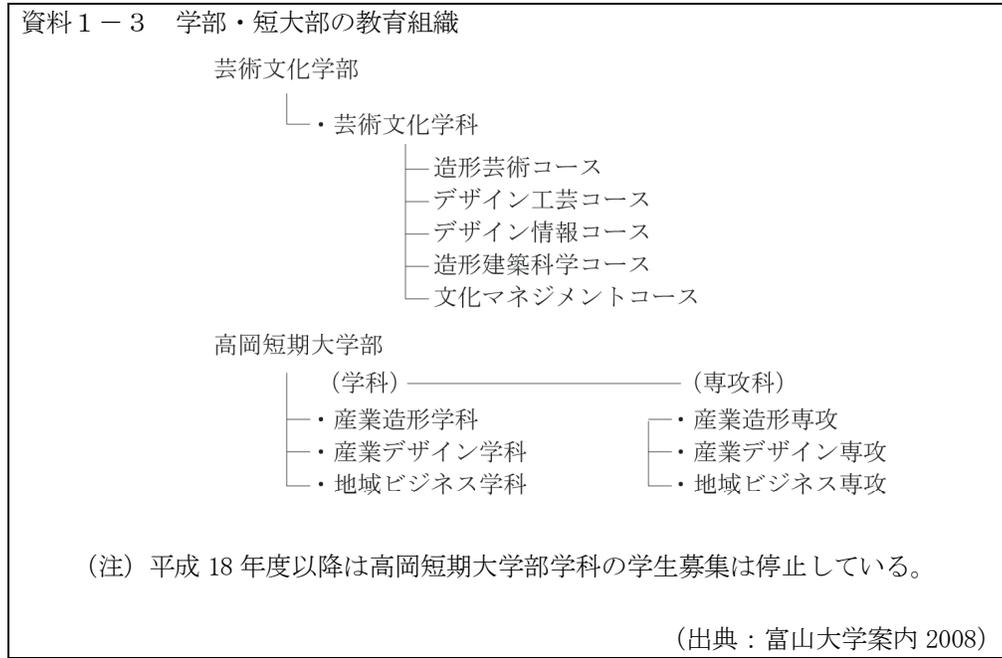
こうした経緯から、以後は(旧)高岡短期大学、新しい富山大学芸術文化学部及び高岡短期大学部を区別せずに、「学部・短大部」の研究として記すことにする。

### 3 組織概要

学生が所属する学部・短大部の教育組織は、資料1-3のとおりである。

教員は、この教育組織とは別に、研究・制作を推進する教員組織である研究部の3研究グループに所属している。

教員の構成は、平成19年度5月1日現在、教授28人、准教授13人、講師7人、助教6人の計54人である（資料1-4）。



#### 4 研究目標

学部・短大部の基本方針（資料1-1）に基づき、教員は実務経験者・工芸作家を中心に構成されており、芸術文化分野における作品制作活動や文化支援活動を、学問的研究活動と同等に位置づけて、これを推進している、という研究の特色がある。

この特色を生かした研究目標は、次のとおりである。

##### ①研究・制作の高度化・先端化

21世紀の社会は『知性と感性の融合』が求められているとの認識に立って、芸術、工芸、デザイン、建築、材料科学、文化マネジメント等の領域を背景に、芸術的・学際的な研究・制作活動を推進し、国内はもとより国際的にも評価されるよう研究・制作の高度化・先端化を図る。

##### ②社会と連携した研究・制作活動の推進と社会への還元

社会が抱えている諸問題、特に地方都市における伝統的地場産業の活性化、高齢社会に対応した生活環境づくり、心の豊かさを醸成する芸術活動の振興、美しい景観づくりの推進について、基礎的な調査・課題分析を行う。加えて改善に資する事業を企画・実行・検証する中で、新たな技術開発や仕組みづくり等の研究・制作活動を活性化させる。

#### 「想定する関係者とその期待」

##### ①富山県内において

学部・短大部は、銅器・漆器などの伝統工芸やアルミなどの地場産業関係者から新商品開発などで中心的役割を担うことが求められている。

北陸新幹線開業に向けた地域公共交通の活性化や立山連峰を仰ぐ美しい景観整備、魅力的な観光の企画や新たな土産品開発など、地域の取り組むべき課題は多い。

こうした富山県内の行政や商工関係者、市民団体といった地域関係者から、各関係者との連携による地域活性化に関する成果が求められている。

##### ②全国において

伝統的地場産業は、消費者ニーズの変化や後継者の育成など難しい課題に直面しているものの、世界的視点から見た時、その技術力や文化性は高く評価されている。今後の伝統的地場産業や文化事業は、生産性や経済性を求めるだけでなく、生活者の視点に立ったものづくりやそれらが活かされる生活文化の提案が求められている。

こうした全国の伝統産業および美術館等文化事業関係者から、豊かな生活文化の提案・技術開発に関する成果が求められている。

## II 分析項目毎の水準の判断

## 分析項目 I 研究・制作活動の状況

## (1) 観点毎の分析

## 観点 1-1 研究・制作活動の実施状況

(観点に係る状況)

## ・ 研究の状況

学部・短大部の教員の論文・著書等の研究業績や学会での研究発表状況、研究成果による知的財産の出願・取得状況等は資料 1-1-1 のとおりである。年度によって多少の差があるが、教員一人当たりの年度研究業績数は 3～4 件である。

特許件数が 4 年間で 2 件と少ないが、意匠権等、芸術やデザインに関わる知的財産権の申請を大学として行うことが困難であることが影響している。

報告書が 4 年間で 63 件あるが、この中には地域連携型の研究成果に関する報告書が含まれており、学部・短大部の研究の特色が現れている。

研究部では、学際的な研究・制作活動を推進するため、平成 19 年度から各研究グループにおいて教員の研究・制作状況を発表する機会を設けた。加えて、学部間交流を目指して医学部、薬学部、工学部、人間発達科学部との研究者交流会を 7 回開催した。また、関連学会や公募展の調査を実施し、一覧表を作成して全教員に配付した。

## 資料 1-1-1 年度別研究業績数

年度	著書		論文		資料・ノート		その他の著作物		口頭発表		共同研究	特許		報告書		その他		年度計
	単著	共著	単著	共著	単著	共著	単著	共著	単独	共同		単独	共同	単著	共著	単独	共同	
16	8	8	8	15	8	6	24	3	18	30	6	0	1	2	8	2	1	148
17	2	9	9	8	3	3	29	5	17	17	8	0	1	7	7	2	2	129
18	1	13	12	20	6	15	29	13	34	29	15	0	0	9	13	4	3	216
19	2	6	7	9	5	4	16	9	30	20	11	0	0	7	10	4	13	153
小計	13	36	36	52	22	28	98	30	99	96	40	0	2	25	38	12	19	
合計	49		88		50		128		195		40	2		63		31		646

(注) その他とは、専門誌、新聞、雑誌、報告書等を含む。

(出典：芸術文化学部研究部にて調査)

## ・ 制作の状況

展覧会や公募展等で発表した年度別の作品業績は、資料 1-1-2 のとおりである。教員一人当たりの年度別作品業績数は 3～5 件である。平成 17 年度の作品業績数が多くなっているが、この中には平成 17 年 9 月の芸術文化学部創設記念「工芸都市 高岡伝統と革新」展で出展した作品が含まれている(別添資料 1)。

このように、制作活動が盛んに行われていることが学部・短大部の特徴である。

資料 1-1-2 年度別作品業績数

年度	作品制作		展覧会		その他		年度計
	単独	共同	単独	共同	単独	共同	
16	103	3	19	32	0	2	159
17	195	13	24	40	7	4	283
18	128	7	27	51	14	6	233
19	132	11	17	31	19	1	211
小計	558	34	87	154	40	13	
合計	592		241		53		886

(注) 作品制作とは、絵画、彫刻、メディアアート等の美術作品、金属・漆・木材等の工芸作品、プロダクト、ビジュアル、環境、建築等のデザイン作品を含む。その他とは、絵画におけるスケッチやプロダクトデザインにおけるプロトタイプモデル提案等を示す。

(出典：芸術文化学部研究部にて調査)

### ・ 外部資金獲得の状況

学部・短大部の教員が、科学研究費補助金、共同研究、受託研究、寄附金を合わせて獲得した外部資金は、資料 1-1-3 のとおりである。平成 19 年度になって寄附金が減少したものの共同研究、受託研究は件数・金額とも増加した。

資料 1-1-3 年度別研究資金獲得状況

	平成 16 年度		平成 17 年度		平成 18 年度		平成 19 年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
共同研究	2	1,270,000	2	1,560,000	2	920,000	5	1,800,000
受託研究 (受託事業含む)	2	1,038,000	1	630,000	7	6,045,421	10	6,866,175
寄附金	24	120,283,151	26	6,021,500	17	7,408,500	7	2,350,000
科学研究費補助金	5	8,300,000	7	15,500,000	4	8,600,000	8	24,270,000
特定領域研究	1	1,700,000	0	0	0	0	0	0
基盤研究(B)	1	3,400,000	2	9,800,000	2	6,700,000	3	14,950,000
基盤研究(C)	2	2,400,000	3	3,600,000	1	900,000	3	5,720,000
萌芽研究	1	800,000	2	2,100,000	1	1,000,000	2	3,600,000
合計	33	130,891,151	36	23,711,500	30	22,973,921	30	35,286,175

(出典：総務管理課専門職員(産学連携担当)にて調査)

研究目標である「社会と連携した研究・制作活動の推進と社会への還元」に基づき、地場産業からの受託研究を積極的に行っている（資料1-1-4）。その結果、年々、件数及び金額とも増加傾向にある（資料1-1-5）。

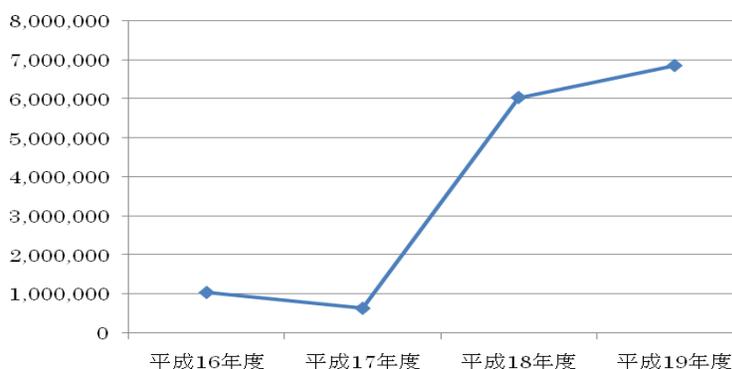
このように、受託研究が盛んに行われていることが学部・短大部の特徴である。

資料1-1-4 受託研究の研究題目

年度	番号	研究題目
16	1	木質構造に最適な新制振技術の開発
	2	新規熱分解法による重質油熱分解生成物の諸特性の評価
17	1	新規熱分解法による重質油熱分解生成物の諸特性の評価
18	1	(財)高岡市民文化振興事業団シンボルマーク等の提案
	2	JAPAN ブランド育成支援事業「戦略策定支援事業」
	3	伝統的工芸品産業等調査研究「高岡銅器」
	4	新しい表面処理技術の開発による無鉛高錫青銅の実用化と地場産業への展開
	5	製品の複雑形状化・高精度化・微細化及びハイサイクル生産に対応する金型及び成形技術の開発
	6	高岡開町400年ロゴマークの提案
	7	地場産杉の間伐材を利用したインテリア家具の製品化
19	1	とやまの森づくりサポートセンターミニ旗及びのぼり旗のデザイン化
	2	製品の複雑形状化・高精度化・微細化及びハイサイクル生産に対応する金型及び成形技術の開発
	3	窒化物-炭素系ナノコンポジット膜の開発によるアルミ切削工具への展開
	4	とやま県産材シンボルマークの補作業務
	5	ゆらぎ華飾技術を用いた携帯電話取替カバーのデザイン提案
	6	金属工芸を支える用具・原材料関連業者の現状調査
	7	二番町の御車山の車輪の漆工部分の復元修理における指導
	8	防音パーテーション設置に関わるデザインの提案
	9	インターフェース・マーク(アイコン)のデザイン
	10	公共施設における家具の設計と量産加工技術の研究

(出典：総務管理課専門職員(産学連携担当)にて調査)

資料1-1-5 受託研究費獲得額の推移

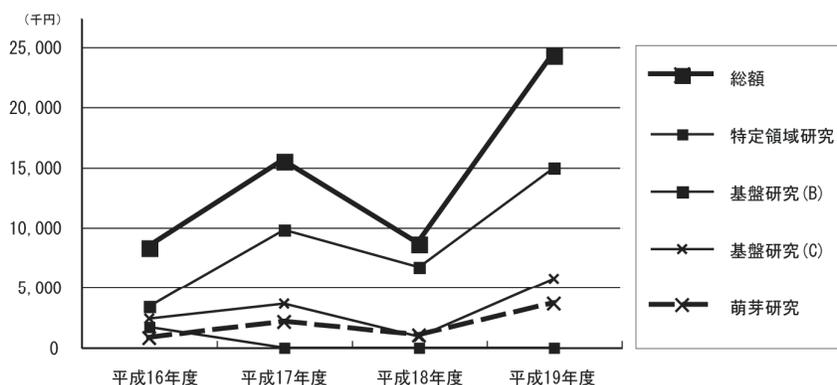


(出典：総務管理課専門職員(産学連携担当)にて調査)

科学研究費補助金の申請時には、芸術文化系の研究に対応した説明会を学部独自に開催するなど推進活動を行った結果、申請可能な教員の申請率は、平成18年の51%から平成19年には81%に向上し、採択件数・獲得金額が伸びを見せた（資料1-1-6）。

一方、関連する外部資金の一覧を作成・配付し、積極的にこれらを活用する支援を行った。

資料 1-1-6 科学研究費補助金獲得額の推移



(出典：総務管理課専門職員（産学連携担当）にて調査)

・受賞・講演・報道の状況

広範囲にわたる研究・制作成果の中で、平成 16～19 年度の間、国際賞 1、全国規模の賞 7、富山県における地域レベルの賞 4 を受賞した（資料 1-1-7）。

国際学会等においては 20 件、全国規模の学会等で 37 件、富山県内の学会等で 65 件の講演を行った（資料 1-1-8）。

研究・制作を評価して、世界的なメディアで 6 件、全国規模の新聞、雑誌、テレビなどで 50 件、富山県内のメディアで 58 件の報道がされた（資料 1-1-9）。

資料 1-1-7 研究・制作成果の受賞数（平成 16 年度～平成 19 年度）

教員氏名	受賞年度	月日	業績名	賞の名称	賞の種別	主催者	分類			備考
							国際	全国	地域	
林 晴	平成16年	10月1日	乾漆朱塗合子	富山県知事賞	優秀賞	日本工芸会			1	日本伝統工芸富山展
貴志雅樹	平成16年	10月1日	建築作品「ITO-HOUSE」	中部建築賞	入選	中部建築賞協議会		1		
渡邊雅志	平成16年	10月	いす式階段昇降機「エスコート」	2004年度グッドデザイン賞・商品デザイン部門	グッドデザイン賞	財団法人 日本産業デザイン振興会		1		産学共同研究の成果
渡邊雅志	平成16年	11月24日	照明「RIBON」	アカリ・イマージュ2004	選考委員会賞	アカリ・イマージュ実行委員会		1		
渡邊雅志	平成17年	2月1日	リビングチェア「PLY」	かわさき産業デザインコンペ2004	優秀賞	川崎市		1		
小川太郎	平成18年	1月	乾漆八角食籠	第23回日本伝統漆芸展	文化庁長官賞	日本工芸会		1		
伊東順二	平成18年	10月9日	長崎県美術館	カーサ アジア賞	カーサ アジア賞	スペイン政府	1			毎年、スペインとアジアの交流、相互理解等に功績があった個人・団体に授与している。日本からは初受賞。
内藤裕孝	平成18年	4月23日	fragile -side table-	第46回日本クラフト展	海外研修賞	社団法人日本クラフトデザイン協会		1		
内藤裕孝	平成18年	10月1日	SHU SHU -pot stand-	第46回富山県デザイン展	奨励賞	社団法人富山県デザイン協会			1	
中村瑞雄	平成18年	6月	作品制作「共振」	2006となみ野美術展		北日本新聞社賞 ・福波市・福波市美術館・福波市教育委員会・北日本新聞社			1	
貴志雅樹	平成18年	11月	建築作品「大谷邸」	全国フロント施工コンテスト	金賞	(株)トステム		1		
武山良三	平成19年	6月23日	ぼたるいかにUSBメモリー（富山県産）	2007 TOYAMA ADC賞	準グランプリ	富山アートディレクターズクラブ			1	
							1	7	4	

(注) 分類の項、国際とは、海外で開催される賞もしくは日本にあって世界的に公募される賞を示す。

全国とは、全国規模で開催されその専門分野で広く認知されている賞を示す。

地域とは、富山県内を対象にしたその専門分野で広く認知されている賞を示す。

(出典：芸術文化学部研究部にて調査)

資料1-1-8 研究・制作成果の講演数（平成16, 17年度）

教員氏名	講演年度	月日	演題	講演会の名称	講演の種別	主催者	分類			備考
							国際	全国	地域	
後藤敏伸	平成16年	7月14日	「日本の芸術事情（立体造形を主に）」	招聘講演	講師	北京工科大学	1			国際交流事業の一環として
貴志雅樹	平成16年	5月19日	木造建築デザインの可能性		講師	富山県林業センター振興協議会			1	
大熊敏之	平成16年	7月17日	日本の（美術）と明治期の万国博覧会	「世紀の祭典 万国博覧会の美術」講演大会	講師	東京国立博物館		1		
立浪 勝	平成16年	8月25日	健康づくり指導者のための気づき	健康づくり指導者研修会	講師	富山県健康スポーツ財団			1	
武山良三	平成16年	10月2日	人、行き交う美しき“景”	日仏景観会議2005高岡・高岡会議	コーディネーター	日仏景観会議2004高岡実行委員会	1			
武山良三	平成16年	10月5日	日仏景観会議2004高岡・高岡会議報告	日仏景観会議2005高岡・東京会議	講師	日仏景観会議2004高岡実行委員会	1			
武山良三	平成16年	10月26日	屋外広告の今後と我々の進む道	関東ネオン業協同組合秋期経営セミナー	講師	関東ネオン業協同組合		1		
貴志雅樹	平成16年	11月2日	建築の構成法—自作を通して—		講師	(社)日本建築家協会富山地方会			1	
武山良三	平成16年	11月4日	サイン&ディスプレイにおけるLED照明の新しい活用		講師	LED推進協議会		1		
渡辺康洋	平成16年	11月25日	Japanese Travel Update – Trends seen in the Japanese Outbound Market	ASEAN Centre Seminar on Japanese Tourism	講師	ASEAN Center	1			
渡辺康洋	平成16年	11月29日	Delivering Quality Service – Preference of the Japanese Travelers: background and changes	ASEAN Centre Seminar on Japanese Tourism	講師	ASEAN Center	1			
武山良三	平成16年	12月1日	富山の顔をデザインする	富山市議会観光部会研修会	講師	富山市議会議員連盟			1	
長谷川総一郎	平成16年	12月5日	世界の民俗彫刻を訪ねて	会員研修会	講師	井波遺族会			1	
貴志雅樹	平成17年	1月22日	言葉と建築		講師	(社)富山県建築士会			1	
渡辺康洋	平成17年	1月25日	What You Need to Know at to Serve the Japanese Tourists	ASEAN Centre Seminar on Japanese Tourism	講師	ASEAN Center	1			
渡辺康洋	平成17年	1月27日	Are You Serving the Japanese Travelers in a Proper Way?	ASEAN Centre Seminar on Japanese Tourism	講師	ASEAN Center	1			
伊東順二	平成17年	1月29日	20世紀美術におけるアメリカ	ホイットニー美術館展特別講演	講師	郡山市美術館			1	
後藤敏伸	平成17年	2月21日	Sculptures of Japan-Introduction of the history and tools-	招聘講演	講師	Murray State University in US	1			国際交流事業の一環として
							8	3	7	
貴志雅樹	平成17年	5月22日	GRID-SYNTAX	(社)日本建築家協会北陸支部大会	講師	(社)日本建築家協会北陸支部		1		
武山良三	平成17年	5月29日	市民・行政が一体となって再建した万葉線	枚方LRT推進会2005年度定期総会特別講演	講師	枚方LRT推進会		1		
武山良三	平成17年	7月8日	景観に配慮したサインづくり	サインクリエイター協会第17回通常総会記念講演会	講師	サインクリエイター協会		1		
立浪 勝	平成17年	7月	健康運動の理論と実際	新潟市カモンスポーツクラブ1周年記念講演会	講師	新潟市地域総合スポーツクラブ			1	
大熊敏之	平成17年	8月6日	フローラ・ダニカの謎—西欧陶磁食器史上の植物図譜の美	「ロイヤル・コペンハーゲン」展講演会	講師	岡山市立オリент美術館		1		
長谷川総一郎	平成17年	9月17日	南砺市の美術	南砺市ゆかりの作家展Ⅱ記念	講師	南砺市立福光美術館			1	
丸谷芳正	平成17年	9月28日	信州型養護学校用机・椅子“フォレスト・プライズ”	第32回国際福祉機器展セミナー	講師	全国社会福祉協議会		1		
渡辺康洋	平成17年	10月25日	What You Need to Know about the Japanese Tourists	ASEAN Centre Seminar on Japanese Tourism	講師	ASEAN Center	1			
渡辺康洋	平成17年	10月28日	Unique Features of the Japanese People	ASEAN Centre Seminar on Japanese Tourism	講師	ASEAN Center	1			
貴志雅樹	平成17年	12月3日	近代建築にみる日本的なもの	プロフェッショナル特別講演	講師	大阪樟蔭女子大学		1		
渡辺康洋	平成18年	1月17日	High Quality Service for the Japanese Tourists	ASEAN Centre Seminar on Japanese Tourism	講師	ASEAN Center	1			
立浪 勝	平成18年	2月	スポーツを楽しむ	富山県民カレッジ人間探求コース	講師	富山県民生涯学習カレッジ			1	
秦 正徳	平成18年	3月1日	地震安全性・木造建築	建築士のための指定講習会	講師	社団法人 日本建築士会連合会		1		
渡辺康洋	平成18年	3月5日	地方都市における短大の存在意義	第12回FDフォーラム	講師	大学コンソーシアム京都		1		
							3	8	3	

(注) 分類の項

国際とは、海外で行われた講演および日本において多数の外国人が参加して開催された国際会議等における講演を示す。

全国とは、全国各地からの要請に基づいて行われた講演を示す。

地域とは、富山県内からの要請に基づいて行われた講演を示す。

(出典：芸術文化学部研究部にて調査)

資料1-1-8 研究・制作成果の講演数 (平成18年度)

教員氏名	講演年度	月日	演題	講演会の名称	講演の種別	主催者	分類			備考
							国際	全国	地域	
貴志雅樹	平成18年	5月10日	高岡市のまちづくり	高岡支部大会	講師	富山県建築士事務所協会			1	
後藤敏伸	平成18年	5月12日	「日本の彫刻とデザイン事情」&「私の造形理念」	招聘講演	講師	Hangzhou Dianzi University in CHINA	1			国際交流事業の一環として
後藤敏伸	平成18年	5月13日	「日本の彫刻とデザイン事情」	招聘講演	講師	Southern Yangtze University in CHINA	1			国際交流事業の一環として
伊東順二	平成18年	6月3日	呼吸する美術館	高岡のまほろばを求めて	パネラー	早稲田大学理工学総合研究センター			1	
秦 正徳	平成18年	7月6日	木材の材質と耐久性	2006年御影堂耐震調査研究委員会	講師	東本願寺				1
安達博文	平成18年	8月8日	顔でつづる日記	とやま自遊館文化教養セミナー	講師	とやま自遊館				1
松政貞治	平成18年	8月20日	山町の町並み・景観を保存・修復する意味と手法とは？-パリや京都を事例に高岡のこれからを考える	高岡山町筋土蔵造りフェスタ講演会	講師	高岡山町筋土蔵造りフェスタ、高岡町衆サロン				1
伊藤裕夫	平成18年	8月24日	文化政策の基本方針策定の現状	文化政策シンポジウム	パネラー	日本芸能実演家団体協議会				1
秦 正徳	平成18年	9月1日	地域における木造住宅の性能検証等の取り組み	第18回木造住宅フォーラム	講師	全国木造住宅振興協議会		1		
長谷川総一郎	平成18年	9月15日	技-伝統工芸と産業の新たな道	越中チャレンジセミナー	講師	北日本新聞社				1
武山良三	平成18年	9月15日	美しい景観づくりと屋外広告物	第1回北海道地区屋外広告官民連絡会議 [第2部] 講演	講師	北海道地区屋外広告官民連絡会議		1		
伊藤裕夫	平成18年	9月30日	在日ブラジル人とアート	大阪市立大学文学研究科COEシンポジウム	講師	大阪市立大学文学研究科		1		
大熊敏之	平成18年	10月7日	みちばたのオモシロ「文化財」探訪-高岡を中心に	いやしのアートウッチング-町並み・彫刻・建造物	講師	富山県生涯学習カレッジ高岡地区センター				1
渡辺康洋	平成18年	10月8日	観光-経済!?	観光ゼミナール	講師	高岡商工会議所青年部				1
伊東順二	平成18年	10月10日	呼吸する美術館	日本・スペイン交流フォーラム	講師	日本・スペイン外務省	1			
伊東順二	平成18年	10月11日	日西間文化交流について	カーサアジア賞受賞記念講演	講演	カーサアジア財団、ブロード美術館	1			
伊東順二	平成18年	10月14日	呼吸する美術館	神通峡美術展開会式記念講演	講師	大沢野文化会館				1
伊藤裕夫	平成18年	10月14日	アーツと「地域」	こしのくに音楽祭とやま文化塾	講師	こしのくに音楽祭実行委員会				1
渡辺康洋	平成18年	10月17日	外国人旅行者から見た公共交通機関	第25回特定都市交通施設整備研究発表会	講師	特定都市交通施設整備研究会		1		
長谷川総一郎	平成18年	10月21日	高岡のブロンズ彫刻	高岡地区センター後期講座	講師	富山県生涯学習カレッジ				1
伊東順二	平成18年	10月24日	座談会「美術と文化」	第4回国際文化フォーラム	パネラー	文化庁	1			
武山良三	平成18年	10月26日	安全で安心して暮らせるまちづくり	第65回日本公衆衛生学会総会サテライトシンポジウム	講師・パネラー	第65回日本公衆衛生学会総会実行委員会		1		
秦 正徳	平成18年	10月27日	木造建物の耐震診断と耐震補強	市民向け地震防災フォーラム	講師	石川県、地盤工学会、関西ライフライン研究会、北陸地震防災研究会				1
武山良三	平成18年	11月2日	屋外広告物と景観まちづくり	福岡市都市景観賞20周年記念フォーラム	講師	福岡市都市景観賞20周年記念フォーラム実行委員会		1		
伊藤裕夫	平成18年	11月17日	日本におけるアートマネジメント概念の受容について	21世紀COE演劇研究センター公開研究会	講師	早稲田大学演劇博物館		1		
渡辺康洋	平成18年	11月21日	Recent Trend in the Japanese Overseas Travel Industry	ASEAN Centre Seminar on Japanese Tourism	講師	ASEAN Center	1			
伊東順二	平成18年	10月24日	座談会「美術と文化」	第4回国際文化フォーラム	パネラー	文化庁	1			
伊東順二	平成18年	11月25日	アーチスト、LRTと街を語る	とやまLRTフォーラム	パネラー	未来観光戦略会議				1
伊東順二	平成18年	12月3日	越中アートフェスタ記念シンポジウム	美の祭典 越中アートフェスタ2006	パネラー	富山県				1
秦 正徳	平成18年	12月6日	長期耐用された木造部材の劣化診断方法	木橋小委員会	講師	土木学会		1		
貴志雅樹	平成18年		構造とインテリア	プロフェッショナル特別講演	講師	大阪樟蓮女子大学		1		
伊藤裕夫	平成19年	1月26日	文化ホールの使命	平成18年度第2回合同研修会	講師	富山県公立文化施設協議会				1
渡辺康洋	平成19年	2月14日	Delivering Quality Service - Preference of the Japanese Travelers: background and changes	Workshop Seminar on Service Provision for Japanese Tourists	講師	タイ王国観光庁	1			
武山良三	平成19年	2月20日	住みたい、行きたい宮崎市のつくり方	宮崎市・景観まちづくりのつどい基調講演	講師	宮崎県		1		
武山良三	平成19年	2月22日	“東京メディアランド”構想	関東地区屋外広告業組合連合会講演	講師	関東地区屋外広告業組合連合会		1		
大熊敏之	平成19年	3月2日	街角で文様をみつける-住宅建築に潜む伝統的意匠	平成18年度日本図学会中部支部研究会	講師	日本図学会中部支部		1		
高橋誠一	平成19年	3月3日	漆工芸の魅力と環日本海の漆文化	2006年度 日本海学講座	講師	日本海学推進機構				1
秦 正徳	平成19年	3月7日	木質構造・地震安全性	建築士のための指定講習会	講師	社団法人 日本建築士会連合会		1		
貴志雅樹	平成19年	3月9日	100+イェ	INAXギャラリートーク	講師	INAX		1		
伊東順二	平成19年	3月19日	予感と心の時代	経営サポート講演会	講師	富山創造倶楽部				1
							8	14	18	

(出典：芸術文化学部研究部にて調査)

資料1-1-8 研究・制作成果の講演数 (平成19年度)

教員氏名	講演年度	月日	演題	講演会の名称	講演の種別	主催者	分類			備考
							国際	全国	地域	
三船温尚	平成19年	2月9日～11日	従臨奇国故城漢代鏡和和日政腐的草葉文鏡范考察銅鏡制作技	齊都臨 和漢代銅鏡鑄造業国際学術研討会	講師、コネクター	山形県文化庁、山形県文書館、山形市文化局、山形市文化局、山形市文化局、山形市文化局	1			
伊藤裕夫	平成19年	4月19日	「文化力で地域から日本を元気にする」	平成19年度第1回文化芸術懇話会	コネクター	文化庁・富山県				1
伊東順二	平成19年	4月19日	文化力で地域から日本を元気にする	文化庁芸術懇話会	パネラー	文化庁		1		
伊東順二	平成19年	4月21日	ミュージアム・ベンチャー	日本建築家協会富山地域会	講師	日本建築家協会北陸支部				1
武山良三	平成19年	4月21日	公共交通のデザインが果たすべき役割	日本科学者会議北陸シンポジウム	講師	日本科学者会議				1
伊東順二	平成19年	4月22日	美しく魅力ある県都の顔づくり	富山駅周辺景観デザインシンポジウム	パネラー	富山県				1
安達博文	平成19年	4月24日	安達博文・野田雄一対談	とやま自遊館10周年記念	講師	とやま自遊館				1
秦 正徳	平成19年	5月13日	能登半島地震の災害調査報告	能登半島地震の災害調査速報報告会	講師	社団法人 日本建築学会災害委員会		1		
大熊敏之	平成19年	5月30日	屋根を見上げる・壁と塀を眺める一街角装飾のたのしみ	平成19年度高岡地区教養講座	講師	富山県民生涯学習カレッジ高岡地区センター				1
松政貞治	平成19年	6月6日	富山の建築・都市・景観の、歴史的文化的な「意味環境」としての在り方	富山県住まい・街づくり協会講演会	講師	富山県住まい・街づくり協会				1
伊東順二	平成19年	6月16日	文化マネジメントによる街づくり	19年度ふしきカレッジ開講式・記念講演会	講師	伏木校下婦人会				1
長谷川総一郎	平成19年	7月8日	地域作家と美術館	開館10周年記念シンポジウム	講師	砺波市美術館				1
松政貞治	平成19年	7月18日	中心市街地居住の再活性化と地域に固有な建築デザインの創出をめざして	第1回 社会奉仕部門フォーラム	講師	高岡西ロータリークラブ奉仕委員会				1
大熊敏之	平成19年	8月25日	彫刻とはなにかー「彫刻」の境界線を考える	彫刻とはなにかー「彫刻」の境界線を考える	講師	宮城県美術館		1		
松政貞治	平成19年	8月26日	高岡市末広町の発展のために	高岡市末広町商店街勉強会	講師	高岡市末広町商店街				1
武山良三	平成19年	9月18日	景色としての広告	景色—keshiki—2007	講師	「景色—keshiki—2007」実行委員会				1
武山良三	平成19年	9月18日	屋外広告物の規制と活用	自治体における広告事業の推進に関する調査研究会	講師	財団法人東京市町村自治調査会		1		
伊東順二	平成19年	9月22日	文化で国を作る	呉羽高校芸術祭講演会	講師	呉羽高校PTA				1
武山良三	平成19年	9月27日	高岡のサイン環境	平成19年度屋外広告物ウォッシング事業講演会	講師	富山県都市整備局				1
大熊敏之	平成19年	10月1日	高岡の歴史遺産と都市景観	北陸ブロック都市景観形成推進協議会	講師	北陸ブロック都市景観形成推進協議会				1
松政貞治	平成19年	10月6日	蘇州・上海の古典庭園と江南の水郷	中国世界遺産セミナー	講師	主催：宮城県、共催：北日本新聞社、後援：高岡市、高岡市教育委員会、高岡市日中友好協会				1
渡辺康洋	平成19年	10月6日	高岡観光マーケティング	第2回 ニューリーダーアカデミー	講師	高岡市教育委員会				1
松政貞治	平成19年	10月8日	駅前から考える高岡のまちづくり	まちづくりと市民の視点、まちにマッチするアートを考えよう	講師	200X年まちづくりの会				1
伊東順二	平成19年	10月22日	「人はなぜヨーロッパに惹かれるのか」	特別展「洋画家たちの欧州物語」講演会	講師	小松市立宮本三郎美術館				1
貴志雅樹	平成19年	10月27日	素材・構造・インテリア I	大阪樟蔭女子大学特別講演会	講師	大阪樟蔭女子大学				1
武山良三	平成19年	10月28日	自由に出かけられる街 高岡・射水・氷見	テクノエイドフェア講演会	講師	富山県高岡厚生センター				1
長谷川総一郎	平成19年	11月17日	今を大切に、未来をみつめて	読書フォーラムINとやま20	パネラー	富山県青少年育成会				1
伊東順二	平成19年	11月18日	魅力ある街づくり	富山市青年元氣塾公開講座	講師	富山市				1
貴志雅樹	平成19年	12月1日	構造とインテリア	大阪樟蔭女子大学特別講演会	講師	大阪樟蔭女子大学				1
辻合秀一	平成19年	12月9日	Mindstorms NXTを使った芸術系学生への制御教育	甲南大学知的情報通信研究所、オープンリサーチセンター整備事業「知的情報ネットワークによる地域密着型教育の高度情報化に関する研究」第5グループ研究講演会	講師	甲南大学知的情報通信研究所		1		
伊東順二	平成19年	12月18日	街づくり・水・折り	富山水辺の映像祭 オープニング記念対談	コネクター	富山水辺の映像祭2007実行委員会				1
渡邊達志	平成19年	12月19日	「地場産物を使用したインテリア・装具の提案」	「現代GP推進フォーラム」	パネラー	現代GP企画運営委員会				1
伊東順二	平成19年	12月23日	富山水辺の映像祭 パネルトーク	富山水辺の映像祭	パネラー	富山水辺の映像祭2007実行委員会				1
立浪 勝	平成20年	1月	記録向上のために	北日本新聞スポーツ記録賞記念	講師	北日本新聞社				1
貴志雅樹	平成20年	1月22日	建築の可能性 I	INAX記念講演会	講師	INAX		1		
松政貞治	平成20年	1月26日	富山県の都市・建築・景観	富山県建築設計監理協同組合講演会	講師	富山県建築設計監理協同組合				1
中村滝雄	平成20年	2月9日	高岡市美術館ハイビジョンホール	学校と専門家の連携によるものづくりの体験から	講師	高岡市教育委員会				1
武山良三	平成20年	2月9日	まちのイメージをつくる「景観情報」	富山市「コンパクトなまちづくり」勉強会	講師	富山市				1
松政貞治	平成20年	2月13日	都市景観・建築に高岡らしさを取り戻し、磨き出すための提案	大型物件対応プロジェクト事業	講師	高岡西ロータリークラブ				1
伊東順二	平成20年	2月16日	海辺の街づくりシンポジウム基調講演	海辺の街づくりシンポジウム	講師	佐世保のまちなかの未来を考へ育てる会				1
伊東順二	平成20年	2月17日	未来への折り	水辺の映像祭開催記念シンポジウム	コネクター	HeArt Nagasaki開催委員会				1
貴志雅樹	平成20年	2月19日	建築の可能性 II	INAX記念講演会	講師	INAX		1		
伊東順二	平成20年	2月24日	ものを作る	建築士会東海北陸ブロック青年建築士協議会	講師	富山県建築士会高岡支部				1
武山良三	平成20年	2月22日	広告としての屋外広告物	安全管理・景観講習会	講師	東京屋外広告美術協同組合		1		
長谷川総一郎	平成20年	2月28日	アートとまちづくり	富山市民大学特別講義	講師	富山市教育委員会				1
松政貞治	平成20年	3月1日	本丸会館を建築学・景観・歴史の観点から考える	フォーラム「本丸会館」	講師	フォーラム「本丸会館」実行委員会				1
武山良三	平成20年	3月8日	景観デザインと色彩	平成19年企業見学会&セミナー	講師	富山県デザイン協会				1
松政貞治	平成20年	3月9日	バルセロナの町並みとガウディの建築	ワールド・フェスティバル	講師	黒部市国際文化センター コーラー				1
松政貞治	平成20年	3月9日	アンダルシア地方などの世界遺産の建築と町並み	ワールド・フェスティバル	講師	黒部市国際文化センター コーラー				1
貴志雅樹	平成20年	3月10日	建築の可能性 III	INAX記念講演会	講師	INAX		1		
							1	12	37	

(出典：芸術文化学部研究部にて調査)

資料1-1-9 研究・制作の報道数（平成16・17年度）

教員氏名	報道年度	月日	報道内容	報道の名称	報道の種別	報道者	分類			備考
							国際	全国	地域	
安達博文	平成16年	7月	作品評及び作品紹介	都美術館便り	雑誌（月刊誌）	月刊美術の窓		1		
安達博文	平成16年	7月	作家論及び作品紹介	安達博文の世界	雑誌（月刊誌）	雲月花		1		
貴志雅樹	平成16年	10月1日	「ITO-HOUSE」	新建築住宅特集	雑誌	(株)新建築社		1		
貴志雅樹	平成16年	11月	ひまわり保育園	現代日本の建築	書籍	(株)ART BOX		1		
								0	4	0

教員氏名	報道年度	月日	報道内容	報道の名称	報道の種別	報道者	分類			備考
							国際	全国	地域	
貴志雅樹	平成17年	5月	住宅の配置について	住宅情報	雑誌	(株)リクルート			1	
西島治樹	平成17年	5月	作家および作品の紹介	学び創作	新聞	富山新聞			1	
西島治樹	平成17年	5月	イメージ映像による作家および作品の紹介	TOKYO BRAINSTORM	DVDマガジン	UZI MAGAZINE (スウェーデン)	1			約10分間にわたる作品ドキュメンタリーを収録
安達博文	平成17年	6月	作家インタビュー及び作品紹介	ふるさと美術散歩	テレビ	ケーブルテレビ富山			1	ふるさと美術散歩 富山の美術家 洋画家安達博文 約15分間
長柄毅一	平成17年	6月2日	古代鉄鏡は「鍛造」	富山新聞	新聞	富山新聞社				1
安達博文	平成17年	7月	作品評及び作品紹介	都美術館便り	雑誌（月刊誌）	月刊美術の窓		1		
安達博文	平成17年	7月	展覧会での作者及び作品紹介	新日曜美術館	テレビ	NHK教育テレビ		1		約4分間にわたりインタビューを交え紹介
安達博文	平成17年	7月	作家論及び展覧会における作品紹介	現代の写実か—安達の眼—安達博文展	美術紙	新美術新聞		1		美術評論家中村隆夫氏執筆。2005年7月21日付け第1面に掲載
武山良三	平成17年	7月2日	富山県の景観	フォーカスイン富山	テレビ	チューリップテレビ			1	
武山良三	平成17年	7月15日	サインデザインハンドブック書評	SIGNS IN JAPAN誌	雑誌	全日本屋外広告業団体連合会		1		
立浪 勝	平成17年	8月	優れた指導法を後世に	泳ぎ指導の金言集	新聞	富山新聞				1
渡邊雅志	平成17年	10月	「工芸都市高岡 伝統と革新」展の取り組み	富山大学芸術文化学部創設記念「工芸都市高岡 伝統と革新」展	ケーブルテレビ	高岡ケーブルテレビネットワーク			1	60分番組。各教員インタビューを交え紹介
伊東順二	平成17年	10月24日	長崎県美術館	3大巨匠から現代まで	新聞	長崎新聞				1
伊東順二	平成17年	11月15日	長崎県美術館	呼吸する美術館は、「美術館からの脱皮」をめざす	雑誌	月間ミュゼ		1		
長谷川総一郎	平成17年	11月15日	長谷川総一郎個展	かわら版	お知らせ	北日本新聞				1
伊東順二	平成18年	10月31日	長崎県美術館	県庁の挑戦～ハコモノ行政はもういらぬ（長崎県美術館編）	WEB	日経ビジネスオンライン		1		
伊東順二	平成18年	1月18日	長崎県美術館	呼吸する美術館手応え	新聞	読売新聞				1
貴志雅樹	平成18年	2月	アルミの茶室	アルミニウムの空間	雑誌	(株)新建築社		1		
林暁	平成18年	2月	梅春を弄ぐ「漆器」ルネッサンス	家庭画報2月号	雑誌	主婦の友社		1		展開き2ページにわたり、特集記事として作品等掲載
渡辺康洋	平成18年	2月23日	現代GPグリーンマップ完成へ	「ものづくり高岡」発信 世界共通絵文字で地図	新聞	北日本新聞				1
長谷川総一郎	平成18年	2月25日	自分違い込み、絶えず変化	創造の瞬間	美術のコラム	北日本新聞				1
渡邊雅志	平成18年	3月	これからの高岡でのものづくりとは	「富山大学芸術文化学部の挑戦」	雑誌	リビング・デザインセンター		1		LIVINGdesign 2006年3月号
丸谷芳正	平成18年	3月9日	様々な障害に対応できる勉強机を元家具職人の富山大学芸術文化学部教授が開発した	養護学校に勉強机を	テレビ	NHK富山			1	約10分間にわたりインタビューを交え紹介
丸谷芳正	平成18年	3月11日	様々な障害に対応できる勉強机を元家具職人の富山大学芸術文化学部教授が開発した	養護学校に勉強机を	テレビ	NHK		1		
伊東順二	平成18年	3月18日	長崎県美術館	県民が生んだ奇跡	新聞	長崎新聞				1
渡辺康洋	平成18年	3月19日	食のブランド力生かせ	あつあつ談義	新聞	富山新聞				1
								1	10	15

(注) 分類の項

国際とは、海外配信された報道を示す。

全国とは、全国規模で配信された報道を示す。

地域とは、富山県内規模で配信された報道を示す。

(出典：芸術文化学部研究部にて調査)

資料1-1-9 研究・制作の報道数（平成18年度）

教員氏名	報道年度	月日	報道内容	報道の名称	報道の種別	報道者	分類			備考
							国際	全国	地域	
林 暁	平成18年	4月21日	こだわりの小さな自動車	ビジネス未来人	テレビ	NHK		1		インタビューを交え紹介
林 暁	平成18年	4月	日本の素材と技術が生み出す新たなブランド価値五感を魅了する官能品質の世界	日経デザイン	雑誌	日経DP社		1		見開き2ページにわたり、特集記事として作品等掲載
渡邊雅志	平成18年	6月21日	地場産杉を使用したインテリア家具の提案	「地場産杉を使用したインテリア家具の提案」の取り組みについて	ラジオ	ラジオ高岡		1		10分間にわたりインタビューを交え紹介
安達博文	平成18年	7月	作品評及び作品紹介	都美術館便り	雑誌（月刊誌）	月刊美術の窓		1		
伊藤裕夫	平成18年	7月5日	利賀フェスティバル2006	県広報番組「こんにちは富山」	テレビ	KNB		1		利賀フェスティバルの歴史などインタビュー
伊東順二	平成18年	7月16日～23日	フランスの世界遺産を8日間生中継で紹介	世界遺産 フランス縦断の旅	テレビ	NHK	1	1		
伊藤裕夫	平成18年	7月27日	芸術を社会で生かすアートマネジメント下	シリーズ「学のいま」	新聞	朝日新聞		1		アートマネジメント教育について取材
西島治樹	平成18年	9月	展覧会/作家・作品の紹介	上海双年展増刊号	雑誌（月刊誌）	上海文芸出版（中国）		1		
渡辺康洋	平成18年	9月18日	大学往来 教授たちの挑戦	学ぶ人々の「学問のすすめ」	新聞	産経新聞		1		
貴志雅樹	平成18年	10月	LATOUR	SDレビュー25年	雑誌	(株)鹿島出版会		1		
西島治樹	平成18年	10月	展覧会/作家・作品の紹介	HOW LIFE/生活	雑誌	DM出版（中国）		1		
西島治樹	平成18年	10月2日	作家インタビューおよび作品・展覧会等の紹介	最先端の芸術発信	新聞	富山新聞			1	
林 暁	平成18年	10月6日	快走小さな自動車～80歳エンジニアの夢	にんげんどキュメント	テレビ	NHK		1		インタビューを交え紹介
渡辺康洋	平成18年	10月18日	たかおかまちあるき	相本商店特別営業	ラジオ	KNBラジオ			1	
伊東順二	平成18年	10月31日	長崎県美術館	県庁の挑戦～ハコモノ行政はもういらぬ（長崎県美術館編）	WEB	日経ビジネスオンライン		1		
武山良三	平成18年	11月9日	富山県の景観	県広報番組「こんにちは富山」	テレビ	KNB			1	
辻合秀一	平成18年	12月9日	「CGによる富山の降雪シミュレーションとそれによる雪害対策シミュレーション」紹介	ベタ雪の怖さ疑似体験	新聞	富山新聞、29面			1	約30分間にわたりインタビューを交え紹介
武山良三	平成18年	12月14日	産官学で開発のほたるいかにUSBメモリ発売	PC Watch	WEB	Impress		1		
武山良三	平成18年	12月14日	産官学で開発のほたるいかにUSBメモリ発売	ケータイ Watch	WEB	Impress		1		
武山良三	平成18年	12月14日	産官学で開発のほたるいかにUSBメモリ発売	BCNランキング	WEB	株式会社BCN		1		
武山良三	平成19年	12月14日	産官学で開発のほたるいかにUSBメモリ発売	Digital Freak	WEB	IRI		1		
武山良三	平成19年	12月17日	産官学で開発のほたるいかにUSBメモリ発売		新聞	北日本新聞社			1	
小松研治	平成18年	12月23日	幸せの小箱並べました		新聞	富山新聞			1	
安達博文	平成19年	1月	画家金井訓志氏との対談	Round About	インターネット	芸術新聞社		1		雑誌社のインターネット上での対談
渡辺康洋	平成19年	1月29日	県デザイン経営塾発表会	富山ニュース	テレビ	NHK			1	
渡辺康洋	平成19年	1月30日	県デザイン経営塾発表会	宇奈月温泉十景策定を	新聞	北日本新聞			1	
渡辺康洋	平成19年	1月30日	県デザイン経営塾発表会	温泉の魅力掘り起こせ	新聞	富山新聞			1	
渡辺康洋	平成19年	1月29日	県デザイン経営塾発表会	富山ニュース	テレビ	NHK			1	
伊藤裕夫	平成19年	1月31日	文化ホール友の会加入者減少について	文化潮流	新聞	北日本新聞			1	
三船温尚	平成19年	3月8日	山東省国際芸術会議の紹介と富山大学での研究紹介	中国の青銅鏡を再現	新聞	北日本新聞			1	
武山良三	平成19年	3月17日	産官学で開発のほたるいかにUSBメモリ発売	AKIBA PC HotLine	WEB	Impress		1		
武山良三	平成19年	3月27日	イカにも新鮮なUSBメモリ	パッケージNOW	新聞	日経産業新聞		1		
								3	16	14

(出典：芸術文化学部研究部にて調査)

資料1-1-9 研究・制作の報道数（平成19年度前半）

教員氏名	報道年度	月日	報道内容	報道の名称	報道の種別	報道者	分類			備考
							国際	全国	地域	
武山良三	平成19年	4月15日	面白い「悪匠（コミュニケーションデザイン）のグラフィック2題	SIGNS IN JAPAN誌	雑誌	全日本屋外広告業団体連合会		1		写真入りA4カラー3ページ
武山良三	平成19年	5月14日	産官学で開発のほたるいUSBメモリ発売	ASAHI.com	WEB	朝日新聞社		1		
貴志雅樹	平成19年	6月	大谷邸	住宅ジャーナル	雑誌	(株)日本建材新聞社		1		
西島治樹	平成19年	6月	企画紹介	街にアートを	新聞	富山新聞			1	
三船温尚	平成19年	7月23日	古代鑄造技法研究の先端技術	芽はぐくむ研究室	新聞	日刊工業新聞		1		
三船温尚	平成19年	7月26日	山東省出土銅鑄錫型の研究を進め、アジアの鑄造技術解明のため技術史学会を設立	文化往来	新聞	日本経済新聞		1		
三船温尚	平成19年	7月28日	山東省で鏡発見を期に国際学会設立	鑄造技術の国際学会・日中韓の研究者	新聞	富山新聞			1	
三船温尚	平成19年	8月4日	山東省で鏡発見を期に国際学会設立	古代から近世の全容研究	新聞	北陸中日新聞			1	
三船温尚	平成19年	8月4日	学会で山東省発見鑄型を復元実験	鑄造技術史学会が発足	新聞	読売新聞			1	
三船温尚	平成19年	8月5日	日中韓研究者で鑄造技術史研究	鑄造技術史学会が発足	新聞	北陸中日			1	
三船温尚	平成19年	8月5日	山東省出土銅鑄錫型の復元鑄造実験	銅鑄の製作技術・日中研究者探る	新聞	朝日新聞			1	
三船温尚	平成19年	8月5日	山東省草葉文銅鑄型を復元し「一笈多鑄実験	銅鑄の鑄造実験紹介	新聞	富山新聞			1	
三船温尚	平成19年	8月5日	山東省出土鑄型復元による銅鑄鑄造実験	アジア鑄造技術史解明	新聞	北日本新聞			1	
貴志雅樹	平成19年	8月	グリッドによる空間構成法	アルミ情報	雑誌	(社)高岡アルミ懇話会			1	
伊東順二	平成19年	10月7日	北斎と富士	ビギン・ジャパノロジー	テレビ	NHK (総合+国際放送)	1	1		
立浪 勝	平成19年	10月	水中ウォーキング	くらしナビ Refresher	新聞	毎日新聞		1		
貴志雅樹	平成19年	10月	Architectural design	建築技術	雑誌	(株)建築技術		1		
渡辺康洋	平成19年	10月26日	県デザイン経営塾セミナー	宇奈月温泉の課題探る	新聞	北日本新聞			1	
渡辺康洋	平成19年	10月26日	県デザイン経営塾セミナー	宇奈月温泉の活性化探る	新聞	富山新聞			1	
武山良三	平成19年	10月26日	公共交通の活性化	こんにちは富山県です	テレビ	KNB			1	
伊東順二	平成19年	12月2日	漫画の歴史・世界に誇る文化の源流	ビギン・ジャパノロジー	テレビ	NHK (総合+国際放送)	1	1		
伊東順二	平成19年	12月25日	豊かさを生んだ2007年総決算	スーパーニュース増刊号	テレビ	富山テレビ放送			1	
三船温尚	平成20年	2月12日	山東省出土鑄型に材質強化の砂粒なし	中国の銅鑄錫型	新聞	共同通信大阪支社		1		
三船温尚	平成20年	2月13日	山東省出土鑄型に材質強化の砂粒なし	中国の銅鑄錫型	新聞	大阪日日新聞			1	
三船温尚	平成20年	2月13日	山東省出土鑄型に材質強化の砂粒なし	中国の銅鑄錫型	新聞	四国新聞			1	
三船温尚	平成20年	2月13日	山東省出土鑄型に材質強化の砂粒なし	中国の銅鑄錫型	新聞	東京新聞			1	
三船温尚	平成20年	2月13日	山東省出土鑄型に材質強化の砂粒なし	中国の銅鑄錫型	新聞	徳島新聞			1	
三船温尚	平成20年	2月13日	山東省出土鑄型に材質強化の砂粒なし	中国の銅鑄錫型	新聞	中国新聞			1	
三船温尚	平成20年	2月13日	山東省出土鑄型に材質強化の砂粒なし	中国の銅鑄錫型	新聞	産経新聞		1		
三船温尚	平成20年	2月13日	山東省出土鑄型に材質強化の砂粒なし	中国の銅鑄錫型	新聞	日本経済新聞		1		
三船温尚	平成20年	2月14日	山東省発見78点の鑄錫型 日中共同調査成果の紹介	古代銅鑄の技術解明・来日中共同で鑄造実験	新聞	北日本新聞			1	
伊東順二	平成20年	2月17日	講演内容	佐世保の未来を考える	新聞	読売新聞		1		
伊東順二	平成20年	2月17日	講演内容	襷裏造成地活用を討論	新聞	毎日新聞		1		
伊東順二	平成20年	2月17日	講演内容	シンボで街づくり論議	新聞	西日本新聞			1	
伊東順二	平成20年	2月17日	講演内容	将来像を考え文化施設を	新聞	長崎新聞			1	
伊東順二	平成20年	2月17日	まちづくりディスカッション	シンポジウム中継	テレビ	長崎ケーブルメディア			1	
松政貞治	平成20年	2月18日	本丸会館本館の建築的価値について	高岡・本丸会館本館「街の遺産」保存・再生望む	新聞	朝日新聞			1	インタビューに基づく記事
伊東順二	平成20年	2月20日	映像芸術解説	報道特集	テレビ	NHK		1		
三船温尚	平成20年	2月20日	山東省出土鑄錫型に植物灰	日中共同技術解明へ	新聞	北日本新聞			1	
武山良三	平成20年	3月5日	「イカシリーズUSBメモリ」世界へ、MoMA公式ストアで販売	+D PC USER	WEB	IT media Inc.		1		
武山良三	平成20年	3月6日	「イカシリーズUSBメモリ」世界へ、MoMA公式ストアで販売	excite. ニュース	WEB	excite		1		

(出典：芸術文化学部研究部にて調査)

資料1-1-9 研究・制作の報道数（平成19年度後半）

教員氏名	報道年度	月日	報道内容	報道の名称	報道の種別	報道者	分類			備考
							国際	全国	地域	
武山良三	平成20年	3月5日	「イカシリーズUSBメモリー」世界へ、MoMA公式ストアで販売	Digital Freak	WEB	IRI		1		
三船温尚	平成20年	3月7日	山東省出土銅鑄型の材質が鑄造実験	前漢時代の銅鑄・鑄物の町で技法解明・日中研究者が鑄造実験	新聞	北陸中日新聞			1	
三船温尚	平成20年	3月7日	山東省出土銅鑄型の日中共同実験スタート	銅鑄の鑄造技術解明へ	新聞	北日本新聞			1	
三船温尚	平成20年	3月7日	中国前漢時代の青銅鑄の鑄造技術研究	青銅鑄の鑄造解明へ・日中研究者 消えた技法実験	新聞	富山新聞			1	
三船温尚	平成20年	3月7日	日中共同実験による銅鑄技術解明	富山大学で鑄造実験行なう	テレビ	NHK			1	
松政貞治	平成20年	3月12日	本丸会館本館の建築学的価値	地域ニュース	テレビ	NHK			1	本丸会館本館についての4分のニュース番組の中で約1分のインタビューを紹介
武山良三	平成20年	3月14日	「イカシリーズUSBメモリー」世界へ、MoMA公式ストアで販売	シブヤ経済新聞	WEB	みんなネットワー		1		
三船温尚	平成20年	3月21日	山東省出土銅鑄型をもとにした日中合同の鑄造実験	「歴史」銅鑄鑄型は粘土と灰製か	新聞	読売新聞		1		
							2	20	29	

（出典：芸術文化学部研究部にて調査）

・ 研究・制作成果公開の状況

①芸術文化学部紀要の創刊

情報広報委員会の中に紀要専門委員会を設置して、学部の紀要のあり方を種々議論し、社会との連携活動や教員の作品を紹介するギャラリー頁を含んだ新しいスタイルかつ電子ファイルでも公開する学部紀要とし、第1巻を平成18年12月に、第2巻を平成19年12月に発刊した（資料1-1-10）。

②芸術文化学部創設記念「工芸都市 高岡伝統と革新」展

学部と地域が組織的に連携した制作活動としての共同制作品 38点と、教員の日頃の研究・制作品 45点を発表するため、平成17年9月～10月の1カ月間、高岡市美術館において芸術文化学部創設記念「工芸都市 高岡伝統と革新」展を開催した結果、2,453人の入場者があった（別添資料1）。

③高岡駅地下芸文ギャラリーの開設

高岡市から「衰退する中心市街地の活性化策の企画と実施に関する要請」を受け、教員が所属する研究グループを横断した「高岡駅地下活性化プロジェクト（実施期間：平成19年4月から平成21年3月末の2年間）」を組織した。

このプロジェクトの活動の結果、平成19年4月、高岡駅地下街に学部・短大部の作品展示場「高岡駅地下芸文ギャラリー」を開設し、これまでに資料1-1-11のような展示を行なった。このことにより、教員の制作活動を広く公開すると同時に、今後のまちづくりや地場産品の活性化に繋がるマーケットデータの調査拠点を構築した。

資料 1 - 1 - 1 0 芸術文化学部紀要 (第 1 巻) の概要



- 学部案内
- コース案内
- 入学案内
- 学務情報
- 学内専用
- リンク



- 学部長メッセージ
- 教育目標・カリキュラム
- 沿革
- 教員紹介
- 研究紹介
- 交通案内

研究紹介

富山大学芸術文化学部紀要第1巻 がダウンロードできます。

- ダウンロードされたファイルの全部または一部を無断で複製、複製することは、著作権法上の罪状を被せられています。複写を希望される場合は、必ず発行者までご連絡ください。
- 電子ファイルはデータ容量を軽減するため解像度を落ととしています。
- 色彩イメージや変換精度は本誌と異なります。

序

P.4	富山大学芸術文化学部としての1年日 芸術文化学部 学部長 前田一樹	392KB
P.6	芸術文化学部ならではの研究発表の場 紀要専門委員会 委員長 武山良三	

特別企画：芸術文化学部創設への取り組み

P.8	創設記念東京シンポジウム「日本の未来と、地方・芸術文化・教育」 前田一樹、伊東康二、貞志雅樹	1.1MB
P.16	創設記念「工芸都市高岡 伝統と革新」展 安達博文、ベルトネン純子、菅志雅樹、林 暲、小川太郎、小松研治、 武山良三、高橋誠一、清水克朗、内藤裕孝、長山信一、渡辺雅志	2.6MB
P.34	創設記念フォーラム「世界が注目する日本の芸術文化」 小松裕子	1.1MB
P.42	創設記念シンポジウム「万葉に未来を、たずねる IMAYOU」 伊東多佳子	1.7MB

研究・制作発表：一般論文

P.56	江戸時代の髹髹大仏研究(1) 九品寺大仏、天王寺大仏、武生大仏の製作技 法について 小笠孝之、戸津圭之介、三船温尚、清水克朗、武笠 朗、横田 勝、野瀬 正輝	1.4MB
P.68	伝統的鍛冶技法による種子鉄の製作工程について 中村滝雄、横田 勝、ベルトネン純子	1.8MB
P.82	湯床吹き技法による金属工芸作品制作研究(1) 湯床吹き工程について ベルトネン純子、鳥田俊弘、三船温尚	1MB
P.90	明治期の彫金家野藤現の作品研究「慶隆王置物」「太平楽置物」につい て ベルトネン純子、鳥田俊弘(宗吾)、岡本隆志、大熊敏之、三船温尚	3.1MB
P.114	Art Management Activities of the Japanese General Travel Agencies 一般旅行業者の文化マネジメント性 渡辺康洋	408KB
P.122	あいまいな「不条理」ベケット批評と主体性の問題 深谷公宣	632KB

研究・制作発表：ノート

P.138	伝統的技法による種子鉄製造の技術保持者に対する聞き取り調査とそれに 関わる周辺調査報告 ベルトネン純子、中村滝雄、横田勝	328KB
-------	--	-------

研究・制作発表：資料

P.144	環境問題と人の健康へ配慮した無鉛髹髹青銅による新商品開発 三船温尚、野瀬正照、横田勝	784KB
P.150	海野藤現彫金作品の調査方法の報告「慶隆王置物・太平楽置物」に関する 制作技法の調査記録 ベルトネン純子、鳥田俊弘、三船温尚、大熊敏之、岡本隆志	428KB
P.160	鹿児島県・種子島における種子鉄製造の伝統的技法に関する調査研究 鍛冶製品製造産業の発達と社会的背景の予備調査 横田勝、中村滝雄、ベルトネン純子	828KB
P.166	現代仏具・張ぶ空間の調度品のデザイン 富山大学高岡短期大学部と高岡仏具卸業協同組合との連携授業の報告 河原雅史、渡辺雅志、高橋誠一、三船温尚、山本文夫、石橋臣吾、折橋祐 紀	500KB
P.176	現代仏具のデザインに関する座談会 高岡仏具卸業協同組合員と高岡短期大学部の意見交換 高岡仏具卸業協同組合、富山大学高岡短期大学部	460KB

研究・制作：2005年活動の記録

P.188		596KB
-------	--	-------

• PDFファイルを開覧するためには、Adobe社のAdobe Readerが必要です。



[このページの先頭へ移動](#)

資料1-1-1-1 「高岡駅地下芸文ギャラリー」での展示状況

開催期間	展示名	展示者	来場者数
平成19年度			
4月1日～5月3日	Remain in "T"	西島 治樹 (教員)	886
5月8日～5月22日	ten-batsu-ten vol.1	富山大学高岡短期大学部産業造形学科・専攻科 (学生)	463
5月28日～6月11日	Tumbler Exhibition	Tumbler Exhibition 実行委員会 (学生)	413
6月29日～7月10日	ten-batsu-ten vol.2	富山大学高岡短期大学部産業デザイン学科・専攻科 (学生)	332
7月13日～7月24日	太陽展	富山大学芸術文化学部「ラボ部」 (学生)	258
7月27日～8月7日	くまプロ	くまプロジェクトチーム (学生)	329
8月10日～8月20日	「地場産材を利用したインテリア・家具の提案2005-07」展	富山大学高岡短期大学部/マイスター事業協同組合 (学生・教員・一般)	335
9月21日～10月2日	Eco-Friendly Action 展-身近にできるエコ活動の提案-	富山大学芸術文化学部 (学生・教員)	178
10月12日～10月22日	シアターg×大串潤也(映像作家)	大串潤也(映像作家) (一般)	191
10月26日～11月6日	PARERGON-バレルゴン-	田中美夜・はねだじゅん (ギャラリースタッフ)	394
11月16日～11月20日	あさのひろし。(歩いて日本一周はじめました)	あさのひろし (一般)	103
11月25日～12月11日	Joint Art Battle Exhibition	JAB実行委員会 (学生・一般)	1,237
12月14日～12月25日	メガネ達の悪戯	後藤どすこい・KAPOMATSUKI (学生・一般)	258
平成20年度			
1月4日～1月14日	かきぞめてん (一般参加型展覧会)	芸文ギャラリー (ギャラリースタッフ)	321
1月18日～1月29日	moorimio MMプラン01	富山大学芸術文化学部 (学生)	207
2月2日～2月11日	芸文堂立ち読み書店	芸文ギャラリー (ギャラリースタッフ)	180
2月16日～2月17日	あしもの庭	芸文ギャラリー (ギャラリースタッフ)	379
2月29日～3月11日	ファンハウス展～このままじゃ追わない～	都市再生プロジェクトチームfuNhouse (学生)	185
3月14日～3月31日	52の木のおもちゃ展	富山大学芸術文化学部 (学生・教員)	466
			合計 7,115

(注) 展示状況は、ギャラリーの専用ホームページ (<http://geibungallery.jp>) においても写真入りで紹介している。

(出典：芸術文化学部研究部にて調査)

## (2) 分析項目の水準及びその判断理由

(水準)

期待される水準にある。

(判断理由)

### ・研究・制作の状況

平成16・17年度は3大学再編・統合の準備作業に追われた時期であった。しかし、平成16～19年度に学会等で発表した研究業績数は646件、展覧会等で発表した作品業績は886件と、毎年、概ねコンスタントな活動を行った(資料1-1-1, 1-1-2)。

### ・外部資金の獲得状況

研究目標に基づき、地場産業からの受託研究を積極的に行い、年々、件数及び金額とも増加した(資料1-1-5)。

学部の新たな研究体制ができてからは科学研究費補助金申請に積極的に取り組むように務めた結果、申請率は、平成18年の51%から平成19年には81%に向上し、採択件数・獲得金額も大きく伸びを見せた(資料1-1-4)。

### ・受賞・講演・報道の状況

受賞では、スペイン政府が主催するカーサアジア賞や第23回日本伝統漆芸展の最高賞である文化庁長官賞が注目される(資料1-1-7)。

講演では、アセアンセンター、北京工商大学など中国の大学、米国マリー州立大学、日本・スペイン外務省が主催する講演会で講師を務めた。また、高岡市と東京で開催した「日仏景観会議」や中国・山東省において開催した「齊都臨 和漢代銅鏡鑄造業国際学術研討会」などでは講師だけでなく会議そのものの企画・運営を行い、これらを通して研究・制作成果の公開に努めた(資料1-1-8)。

報道では、NHKが8日間にわたってフランスと衛生中継した「世界遺産フランス縦断の

旅」で解説を行い、スウェーデンや上海のメディアでは、制作したインタラクティブアート作品が報道された。中国青銅鏡鑄造技術の解明を試みた日中共同研究では全国的に多数の報道が行われた。この他、地域のテレビ・ラジオ・新聞でも多数報道された（資料1-1-9）。

#### ・研究・制作成果公開の状況

創刊した学部紀要は、研究論文だけでなく作品や年間の活動業績一覧を掲載し、さらに社会との連携事業も含めて大学の研究・制作活動が一望できる内容とし、電子ファイル化により情報公開に務めた（資料1-1-10）。

平成17年9月～10月の1カ月間、高岡市美術館において芸術文化学部創設記念「工芸都市 高岡伝統と革新」展（別添資料1）を開催し、学部と地域が組織的に連携した作品紹介や今後の方向性を提案した。

平成19年度からは、制作成果としての作品公開は、高岡駅地下芸文ギャラリーを開設したことで常設展示が可能になり、一般市民が気軽に見学できる環境を整えた（資料1-1-11）。加えて企画展示は、ホームページでも公開し、会場に行けない場合や過去の展示を遡って見たいニーズに対応した。

これらのことから地域及び全国の関係者から期待される水準にあると判断する。

## 分析項目 II 研究成果の状況

### （1）観点毎の分析

#### 観点2-1 研究成果の状況

（観点に係る状況）

学部・短大部の研究目標に基づき、次のような優れた研究・制作成果を上げている。

#### 学術・芸術面

研究・制作の高度化・先端化を図った成果は、次のとおりである。

中国で初めて出土発見された前漢代の青銅鏡の鑄型を日中共同で調査し、技術面から考察した。結果は三編から成る報告書にまとめられ、発行に合わせて山東省において国際学会を開催した（業績番号：1001）。

漆工芸では、引き型乾漆技法により、花の蕾みをモチーフとした甲面のふっくらと盛り上がった八角の陵花型食籠を制作し、第23回日本伝統漆芸展の最高賞である文化庁長官賞を受賞した（業績番号：1002）。

絵画では、水彩ロール紙に3年に渡り1日1コマの絵画を作成した「日記」3点をはじめ、タブロー73点を集めて安達博文展を駒ヶ根高原美術館において開催し、NHK教育テレビ新日曜美術館アートシーンで紹介されたほか、2006年度東郷青児記念大賞候補者として推薦を受けた（業績番号：1003）。

新たな芸術領域であるインタラクティブアートでは、台湾や上海などの権威ある展覧会で、開催場所に合わせた技術対応を行った電子昆虫採集システムを展示し、未来志向型環境芸術作品として評価された（業績番号：1004）。

#### 社会・経済・文化面

社会と連携した研究・制作活動の推進と社会への還元を行った成果は次のとおりであり、特に富山地域の産業界や文化施設の期待に応えている。

アートマネジメントでは、長崎県立美術館において、公立美術館としては全国で初めて指定管理者制度を導入した地域連携発信型美術館の新しいモデルを構築した。また、日本におけるスペイン美術最大のコレクションである「須磨コレクション」の調査・分析・研究を指導し、プラド美術館、コンプルテンセ大学（スペイン）と共同で本格的なスペイン美術収集を整備した（業績番号：1005）。

サインデザインに関する調査・研究を行いサイン用語のハンドブックを刊行（日本サインデザイン協会）した他、富山県の美しい景観づくりに向けて『富山県景観広告デザインガイドライン』を作成した（業績番号：1006）。

フランス語の原著書を翻訳し、A4版647頁にもおよぶ『ル・コルビュジエ事典』（中央公論美術出版）を刊行し、有名建築家の研究に欠かせない資料を作成した（業績番号：1007）。

## （２）分析項目の水準及びその判断理由

（水準）

期待される水準にある。

（判断理由）

学部・短大部の研究目標「研究・制作の高度化・先端化，社会と連携した研究・制作活動の推進と社会への還元」に沿い，学部を代表する研究業績リスト（I表），研究業績説明書（II表）に示した優れた研究・制作業績が上がった。

### ・富山県内において

漆工芸では，引き型乾漆技法による作品を制作し，第23回日本伝統漆芸展の最高賞である文化庁長官賞を受賞した。また，屋外広告物の改善に取り組む富山県に対して，富山県景観広告ガイドラインを作成して広告主や広告業者が取り組むべきデザインの指針を示した。

このようなことから，富山県内の地場産業関係者や行政関係者の期待に応えた。

### ・全国において

中国青銅鏡の鑄造技術の研究では，地域の伝統産業から発展し国際的な学会を設立するなど，地域を飛び出した研究・制作活動が行われた。

絵画では，駒ヶ根高原美術館において大規模な個展である安達博文展を開催し，インタラクティブアートでは，台湾や上海などの権威ある展覧会で，招待展示を行った。

『ル・コルビュジエ事典』はA4判647頁にもおよぶ翻訳書で，世界的に評価されている同書を日本に紹介し関連研究の貴重な資料となった。

以上のことから，学部・短大部の研究・制作成果は上がっており，関係者から期待される水準にあると判断する。

## III 質の向上度の判断

### ①事例1「受託研究の推進」（分析項目I）

（質の向上があったと判断する取組）

研究目標に基づき，地場産業からの受託研究を積極的に行っている（資料1-1-4：P10-7）。その結果，年々，件数及び金額とも増加し，平成16年度に比較して平成19年度は件数で5倍，金額で6.6倍にも増加している（資料1-1-5：P10-7）。

このことは，中小企業の多い地場産業関係者の期待に応えていることを示している。

以上のことから，研究・制作成果の社会への還元のため，受託研究の推進が向上したと判断する。

### ②事例2「研究・制作活動の発信」（分析項目I）

（質の向上があったと判断する取組）

社会との連携活動や教員の作品を紹介するギャラリー頁を含んだ新しいスタイルの紀要を企画し、平成 18 年 12 月に芸術文化学部紀要を創刊した（資料 1-1-10：P10-16）。また、紀要の電子ファイルを公開したことにより、学術情報の発信を効果的に行った。

平成 17 年 9 月～10 月の 1 カ月間、高岡市美術館において、教員と地域の企業・職人による共同制作品と教員の日頃の研究・制作品の展示を行い、2,453 人の入場者があった（別添資料 1）。

また、高岡市から「衰退する中心市街地の活性化策の企画と実施に関する要請」を受け、弾力的な組織横断的研究グループとして高岡駅地下活性化プロジェクトを組織した結果、平成 19 年 4 月、高岡駅地下街に学部・短大部の作品展示場「高岡駅地下芸文ギャラリー」を開設した。これまでに各種のイベントや学部・短大部の関連作品を展示し、平成 19 年度は市民向けに 18 件の展示を行うことができ、のべ 7,115 人の市民が来場した（資料 1-1-11：P10-17）。

このように、「芸術文化学部紀要の創刊」と「工芸都市 高岡伝統と革新 展」と「高岡駅地下芸文ギャラリーの開設」を通して、平成 16 年度と比較して、毎年、教員の研究・制作活動を広く公開する手段を充実させてきた。

以上のことから、研究・制作活動の発信が向上したと判断する。

## 学部・研究科等を代表する優れた研究業績リスト（I 表）

法人名	富山大学	学部・研究科名	芸術文化学部・高岡短期大学部
-----	------	---------	----------------

### 1. 学部・研究科等の目的に沿った研究業績の選定の判断基準（200字以内）

「研究・制作の高度化・先端化」を目標に、芸術的・学際的意義が優れている業績、および「社会と連携した研究・制作活動を推進し社会へ還元する」を目標に、社会と連携し、その改善に貢献している業績を選定した。学術面では、権威ある賞の受賞、招待展示の対象、国際的活動、社会面では、産業・社会分野での活用、招待講演・基調講演の対象、審議会等の委員として政策立案に影響力を有した、などを選定の基準とした。

### 2. 選定した研究業績リスト

No	研究業績名	細目番号	研究業績の分析結果		重複して選定した研究業績		共同利用等
			学術的意義	社会、経済、文化的意義	業績番号（重点的に取り組む領域）	業績番号（他の組織）	
39:10:1001	従臨齐国故城漢代鏡范和日本収蔵的草葉文鏡范考察銅鏡制作技術（従臨齐国故城の前漢代の鏡鑄型と日本にある草葉文鏡鑄型から考察する青銅鏡製作技術）	1801	S				
39:10:1002	漆芸作品「乾漆八角食籠」	2806	S				
39:10:1003	「安達博文展 現代の写楽かー安達の眼ー（絵画作品）」	2806		S			
39:10:1004	インタラクティブアート作品「Remain In Light～new version for Asia」	2806	S				
39:10:1005	長崎県美術館における文化マネジメントの実証的研究	3801		S			
39:10:1006	サインデザインに関する調査研究	5303		S			
39:10:1007	『ル・コルビュジェ事典』	5304		S			